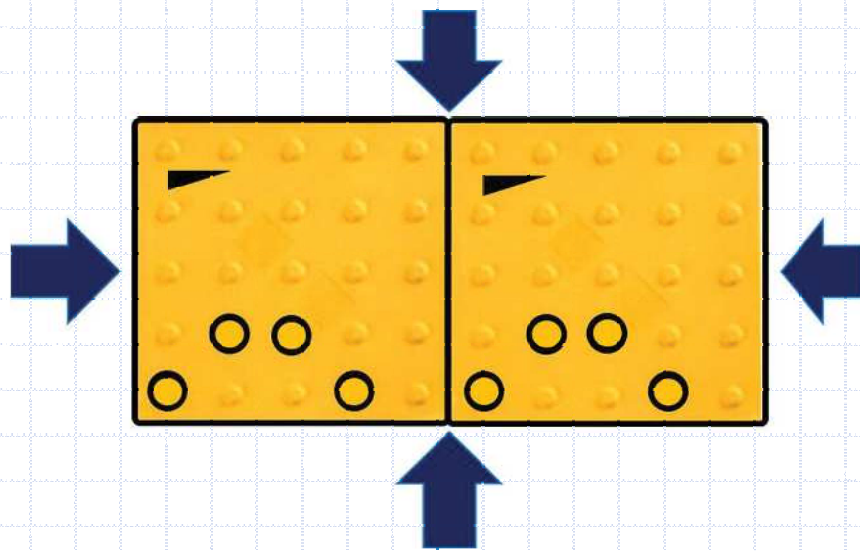


## 特徴1 4方向それぞれにメッセージの登録が可能

読み取る方向に応じて、4方向それぞれに異なる音声メッセージを登録できます。

そのため、読み取る人がどの方角から来て、今向いている方角に対応した適切な案内を提供することができます。



## 特徴2 案内情報の更新が可能

周辺施設やショッピングモールのお店が変わったときにはメッセージ内容の変更が可能です。

内容変更についてはコードの貼り直しや工事は不要で、変更したい内容をご連絡いただくだけで、すぐに対応が可能です。



### 特徴3 シンプルな施工で大掛かりな工事不要

- 既設の点字ブロック（警告ブロック）にコード化用部材を接着するだけで施工が完了します。
- 大掛かりな工事や床材の張替などは不要です。
- また、取り付ける部材は電子部品ではないため、設置・保守の手間やコストを抑えることができます。

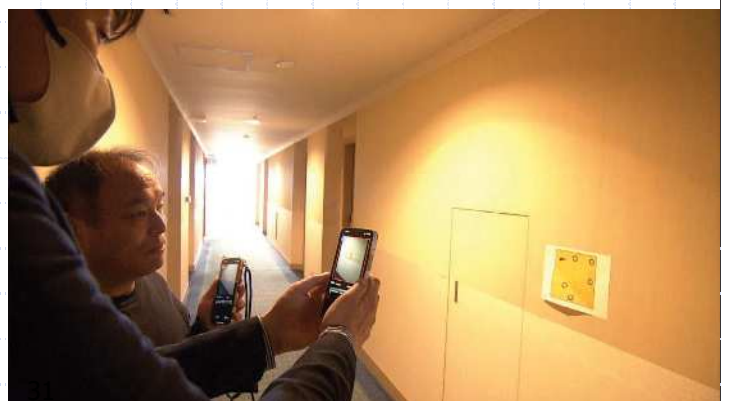


### 設置例 能登半島地震 2次避難所となったホテル

- 珠洲市の大口史途歩さん(51)
- 能登の避難所、視覚障害者の移動をスムーズに スマホで情報を音声化

長引く避難生活のために、ホテルに「コード化点字ブロック」を設置してもらいました。これは、スマートフォンのカメラが読み取れる場所にコードを設置することで、音声で現在地を教えてくれるものです。

金沢工業大松井教授が1月下旬にホテルを訪れ、紙に印刷した点字ブロックを壁に貼り付け、案内情報をサーバーに入力するなど導入作業にあたった。大口さんは自室からホテルのロビーまで、1人で自由に行き来できるようになった。



# 音声化技術だけでは解決しない

- ① 日進月歩の音声化技術  
乱立状態にあり、これという決め手はない。
- ② 混乱した状況下では人的サポートのみが頼り発災  
直後は特に人や物であふれ、事態は流動的。
- ③ 孤立をいかに防ぐかがカギ  
支援が必要な人ほど避難所生活が困難。  
在宅避難、車中泊、縁故避難、ホテル泊などの多様な避難  
に対応が必要。

# 人的対応による情報保障を

愛知県障害者施策審議会専門部会の委員

金政かおりさん（愛知盲ろう者友の会）からのメッセージ

- ・ 盲ろう者は、目で見ることでも耳で聴くこともできず、自力で情報を得られない。
- ・ 避難所内に点字ブロックを敷設することで行動可能。
- ・ 音声情報を聴くことはできない。
- ・ 周囲の人からは手のひら書き、触手話、大きな音声で話しかけていただきたい。



ハードウェアだけでは解決できない  
人的対応による情報保障、合理的課題の課題



# 要配慮者のニーズ把握と発信

## ① 要配慮者のニーズ把握

指定避難所の受付班の機能として要配慮者のニーズ把握を

## ② 要配慮者のニーズ発信

要配慮者とその家族は、基本情報や避難所でお願いしたいことを、緊急時のSOSカードとしてまとめて携行することも重要。

災害発生時やもしものときに

### みなみ防災 緊急時SOSカード

もし災害がおこったら、みんながパニックになるかもしれません。日頃も急に意識がなくなることがあるかもしれません。

避難所で配慮して欲しいことや、助けが必要な時に病气や薬のことを伝えるために、緊急連絡先やからだに関することなどあなたの大切なことをカードに書きましょう。

- 個人情報を持ち歩くので、なくさないように注意してください。
- 緊急時の安心のためにも、年に1度は内容を家族で話し合ってください。

#### 書き方・使い方

- 右のカードを切り取り、6つ折りにして使用します。
- 病名など、なにをどこまで記入するかはご家族で話し合ってください。
- 災害や緊急時に読むものなので、なるべく簡潔に書いてください。
- 「お薬情報」「かかりつけ医療機関」など内容が変わった場合は、新しい情報に書き換えましょう。
- このカードは、緊急時の対応が約束されるものではありません。
- 定期券入れや手帳、透明ケースなどに入れると持ちやすいです。

いつも持っておきましょう！

避難するときは必ずもっていきましょう！

(監修) 南区自立支援連絡協議会「要配慮者の防災を考える会」(配布窓口)  
 南区役所総務課 Tel.823-9315/Fax811-6360  
 南区役所福祉課 Tel.823-9392/Fax811-6366  
 南区障害者基幹相談支援センター Tel.822-3001/Fax822-3035  
 南区社会福祉協議会 Tel.823-2035/Fax823-2688

平成29年6月 南区役所総務課 発行

### みなみ防災 緊急時SOSカード

記入した情報を、消防や警察、搬送先医療機関が救急生搬情報に活用することに同意します。

住所 南区

氏名 (仮り) 氏名

生年月日 年 月 日

血液型 型/Rh + -

身体障害者手帳 (あり・なし) 写真

要介護手帳 (あり・なし)

精神保健福祉手帳 (あり・なし)

住 所

名 前

電話 ( ) - ( )

保険証 被保険者番号 保険者番号

もしもの時の連絡先

名前 あなたとの関係

電話 ( ) - ( )

名前 あなたとの関係

電話 ( ) - ( )

名前 あなたとの関係

電話 ( ) - ( )

かかりつけ医療機関

病院・医療名 主治医

電話 ( ) - ( )

病院・医療名 主治医

電話 ( ) - ( )

病院・医療名 主治医

電話 ( ) - ( )

お薬情報/今もらっている薬

薬名 電話 ( ) - ( )

記入日 年 月 日

署名欄

持 病	あり ( ) ・ なし ( )
アレルギー	あり ( ) ・ なし ( )
食物アレルギー	あり ( ) ・ なし ( )
抗凝固剤使用	あり ( ) ・ なし ( )

基本医療情報

既往歴などいつ頃から ( )

伝えたいこと

避難所でお伝えしたいこと

大勢での生活 ( )

声のかけ方 ( )

苦手なこと ( )

家族との集合場所・家族と決めている避難所

その他、避難所でお伝えしたいこと (なるべく簡潔に、箇条書きでお知らせください)

私の手伝ってほしいこと (なるべく簡潔に、箇条書きでお知らせください)

### 地震発生時に何をしたらいい？避難行動について

**揺れた！**  
まずは身の安全の確保！  
頭を守り、揺れが収まるまで低い姿勢で、その場にどまる

1 しせいをひくく  
2 あたまをまもり  
3 しっとする

**揺れが収まったら**

- ケガをしないように靴やスリッパを履く
- ドアや窓を閉めて、出入口を確保する
- ラジオやスマートフォンなどから正しい情報を入手する
- 非常持ち出し品を準備する
- 火が出たら速やかに消火する
- ガスの元栓をしめる、ブレーカーを落とす

**安全な場所へ避難する**

(大)津波警報が発令された

火災が起ってきた

高層や津波避難ビルなどできるだけ高い所へ避難

公園などできるだけ広い場所へ一時的に避難

危険が薄くなったら 自宅の状況を確認

自宅が住める場合は 在宅避難

自宅が住めない場合は 指定避難所へ

災害用伝言ダイヤル「171」の活用

電話がつかない場合に、安全確認や連絡などに利用できます

伝言の録音方法

171 にダイヤル

ガイダンスが流れます。

録音の場合 1

ガイダンスが流れます。

伝言の再生方法

171 にダイヤル

ガイダンスが流れます。

再生の場合 2

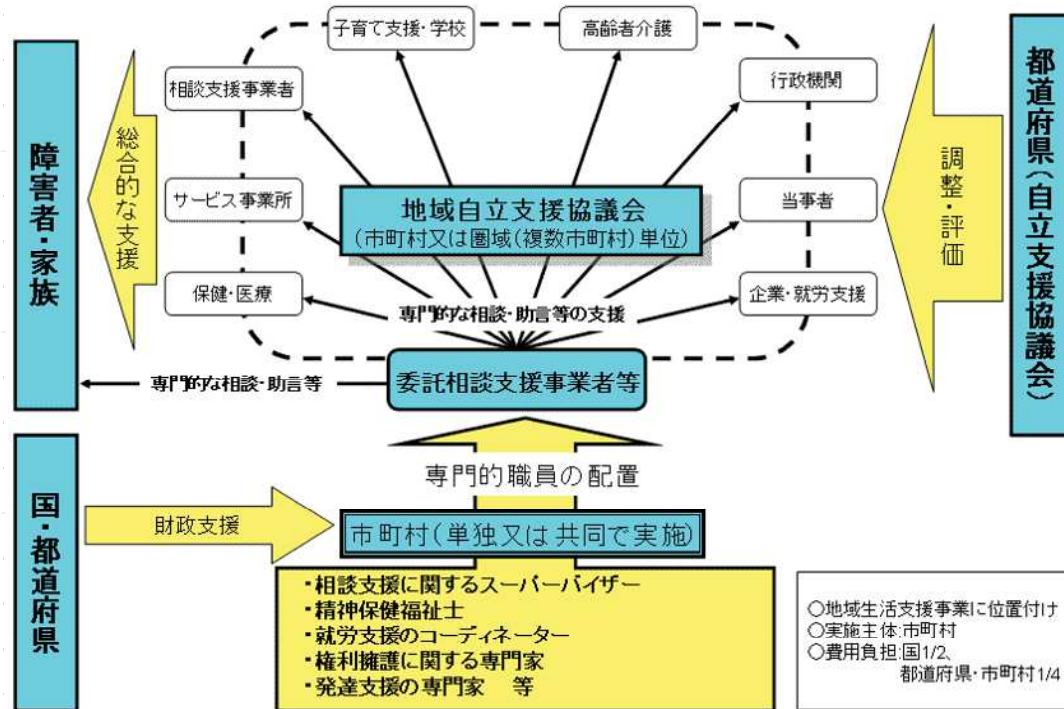
ガイダンスが流れます。





地域防災計画、防災訓練への当事者団体の参画と

# 障害者自立支援協議会の活用を



## 名古屋市昭和区での実践例

危険から逃れるための  
避難訓練なのに!!

No	できごと	日付
1	昭和区総合防災訓練(市主催)に参加希望するも「危険を伴うので障害者の参加はご遠慮願います」と区役所総務課からやんわりお断り。	2011 2012 2013
2	映画と地域防災つどい 自立支援協議会主催、区民向け	2015/3/11
3	指定避難所の福祉避難コーナー開設訓練 (松栄学区の地域防災訓練)	2017/7/29
4	車いす体験+車いす介助体験	2018/9/2
5	アイマスク体験+視覚障害者誘導訓練	2019/9/1
6	昭和区総合防災訓練(市主催)	2022/9/4
7	要配慮者聴き取り訓練 (御器所学区の地域防災訓練)	2024/6/23
8	宿泊型避難所運営訓練での当事者講話	2024/9/28

※1.3.4.5.は昭和区総合防災訓練(市主催、16区で開催)

2017年以降は自立支援協議会は救護班として住民向けプログラムを担当

## 第3部 グループワーク

**避難行動と避難生活における情報保障**  
発災後の当事者の困りごとから、解決策を考える

### ケース1 視覚障害者の困りごと

- ① 困りごと  
避難所には「1人1個まで」「必ず本人が並ばないとだめ」というルールがある。  
人や物がごった返して、視覚障害は並び列がわからない。たどり着けても、元の場所に戻れない。汁ものを運べない。
- ② 避難所でどのような対応が望まれるか
- ③ 避難生活での合理的配慮を生むための平時の課題

## ケース2 聴覚障害者の困りごと + 耳の遠い高齢者

- ① 困りごと  
避難所の炊き出しや配給の案内を音声されても自分たちには伝わらない。  
「張り紙にしてほしい」と要望しても断られる。
- ② 避難所でどのような対応が望まれるか
- ③ 避難生活での合理的配慮を生むための平時の課題

## ケース3 発達障害者の困りごと + 精神障害者

- ① 困りごと  
大勢の人がいる空間が苦手／パニックになる。  
避難所での集団生活が困難なため、生活インフラが停まったなか在宅避難している。  
避難所を訪ね物資を分けてほしいと頼んだが、「避難所に滞在する被災者」だけと断られる。
- ② 避難所でどのような対応が望まれるか
- ③ 避難生活での合理的配慮を生むための平時の課題



## ケース4 知的障害者の困りごと

- ① 困りごと  
知的障害のある女性は一軒家で就学前の娘と2人暮らし。  
月降水量の1.5倍の大雨が1日で降り、近所の川は危険  
水位を超え、避難が必要な状況である。  
相談支援専門員が心配して電話やLINEで連絡するが
  - ・ 避難所の学校名はわかるが場所がわからない。
  - ・ 近所に知り合い（頼める人）がいない。
  - ・ 福祉事業所の職員はたどり着けない。
- ② 避難行動でどのような対応が望まれるか
- ③ 避難生活での合理的配慮を生むための平時の課題

## まとめにかえて

- ・ 避難の選択肢を増やす（分散避難）
- ・ 個別避難計画のすすめ

## 名古屋市内

### 避難所の収容率は人口の1割未満

区分	収容人数	収容率	名古屋市人口
2㎡/人として	269,640人	<b>11.6%</b>	2,320,000人
3㎡/人として	179,760人	<b>7.7%</b>	



**分散避難…避難所以外の避難の選択肢を!**

# 避難とは

Refuge **生き残る**…命の危険から逃れる

Shelter **生き延びる**…ライフラインが復旧するまでの間過ごす

## 2つの誤解

- ①「避難」「避難訓練」≠「指定避難所に行くこと」
- ②「避難所」≠「避難所で寝泊まりする人を支援する場所」

- 過去の災害ではライフラインが途絶した状況でも、避難所以外で生活する被災者の人が多数存在。
- そもそも指定避難所の収容人数は人口の1-2割程度。
- 指定避難所は、避難所以外で生活する被災者の人も含めた支援物資の供給等の拠点（地域の防災拠点）として機能すべき。



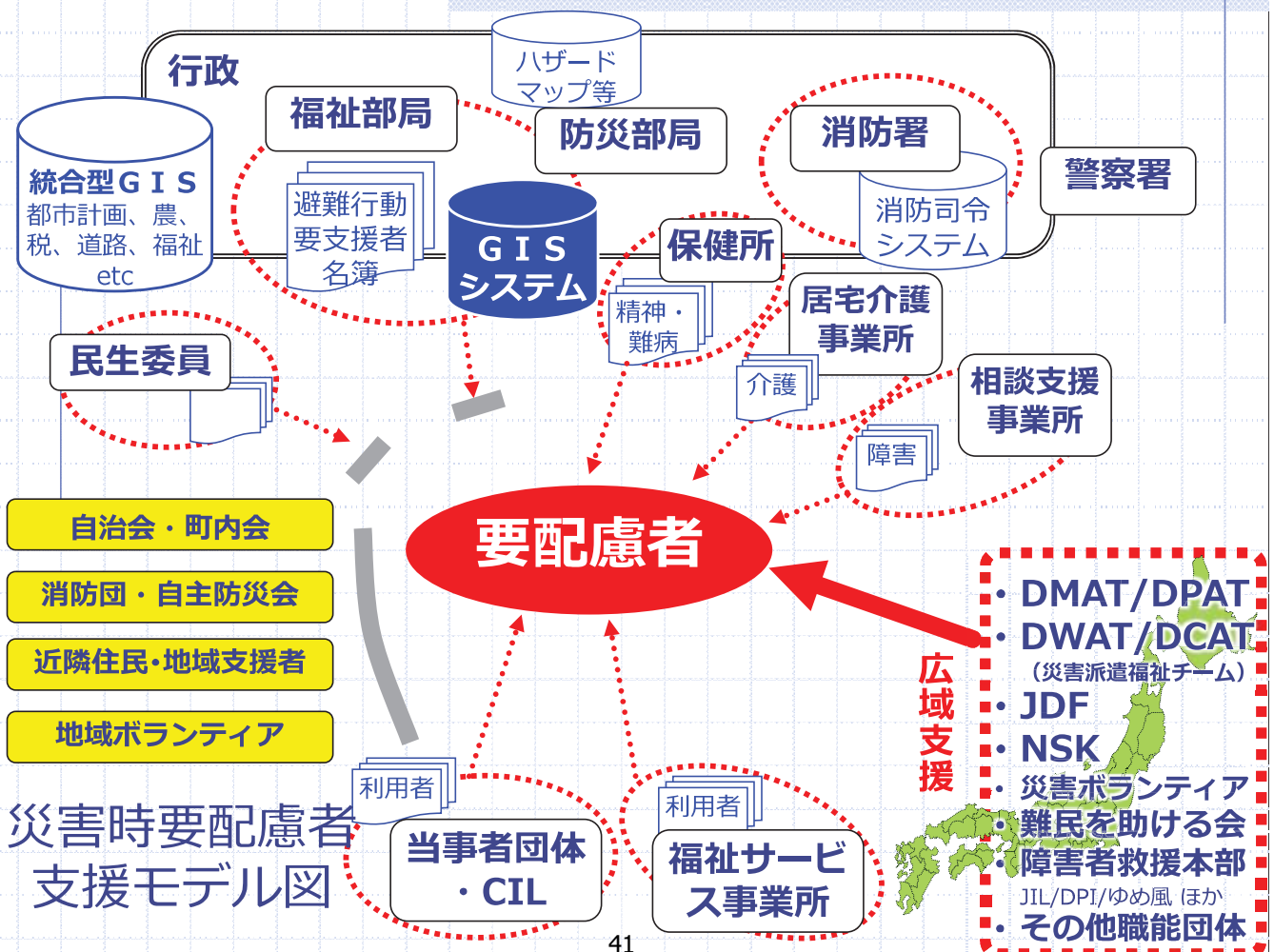
# 多様な避難の選択肢を！

- 在宅避難
- 車中泊
- 高台避難、広場避難、2階以上への垂直避難
- 縁故避難
- ホテル避難
- ヘルパー、支援者を伴った避難
- 福祉事業所、医療機関、在宅医療業者と連携した避難

避難が困難な人ほど多様な選択肢を持つべき

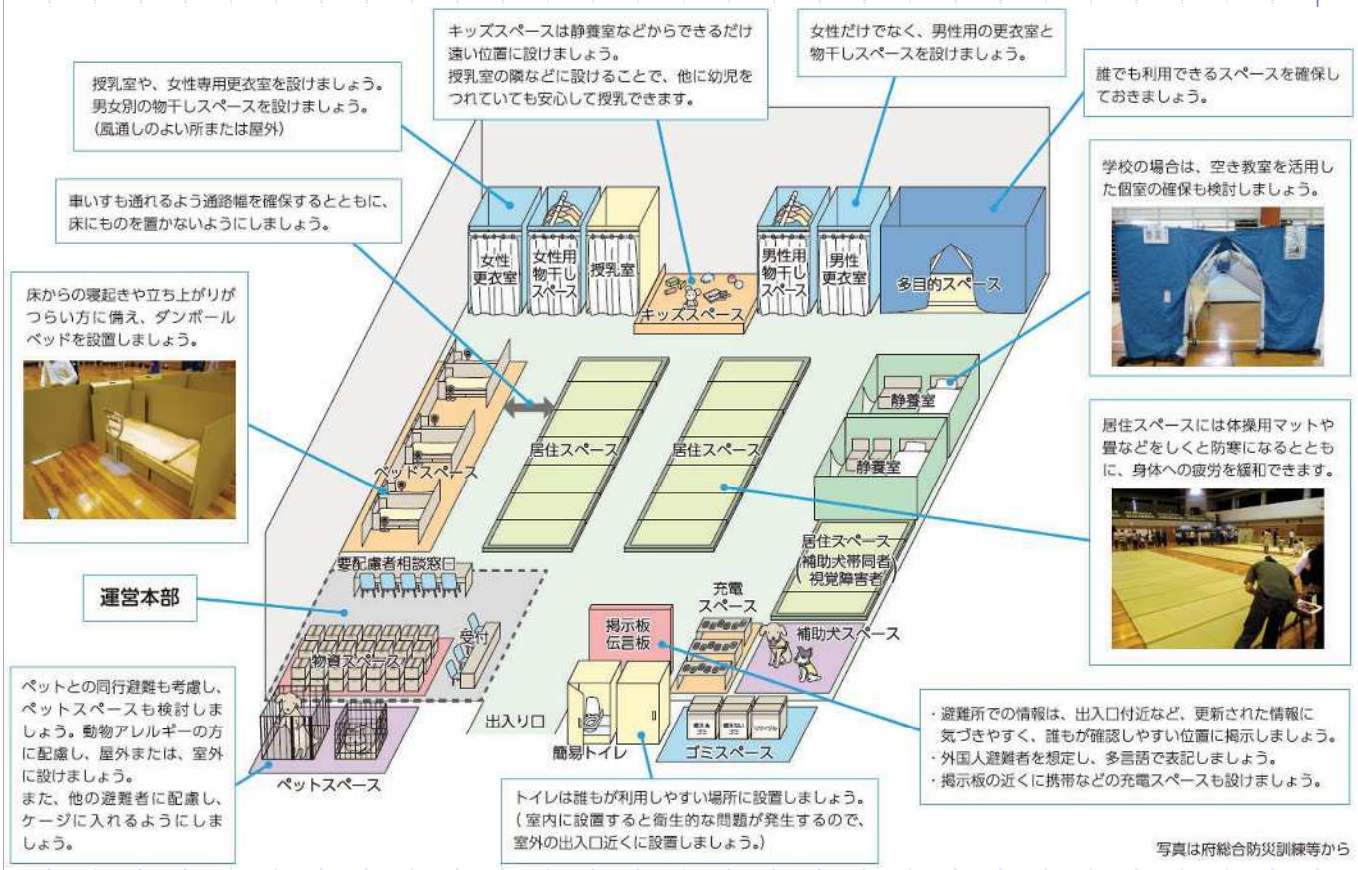
個別避難計画…どうしたら自分は助かるのか、道筋を描く

いつ誰とどこへどのように





# 避難所レイアウト例



# 要配慮者の居住スペース

## ポイント!

- 歩行困難…スムーズに通路へと出られるよう通路側
- 視覚障害…自分の位置がわかるように壁際
- 聴覚障害…掲示板など視覚情報がわかりやすい場所
- 自閉症や発達障害・認知症…できるだけ静かな場所
- 普段から地域で要配慮者も交えてレイアウトを考えておく。
- 居住スペースは壁に隣接して設置。
- 福祉避難コーナーは個室が用意できれば個室の設置を優先。

## 誰もが安心して利用できるための 避難所チェックリスト 13項目

区分	チェック項目
準備	① 障害のある人、高齢者、妊娠している人、乳幼児など、配慮が必要な人の視点で施設・設備・備蓄品のチェックを行い、実際に訓練をしたことがありますか。
	② 配慮が必要な人が、どれくらい避難所を利用するか把握していますか。
	③ 配慮が必要な人の利用を前提として、避難所内や駐車場のレイアウトを事前に決めていますか。
	④ 避難所に避難しない被災者（在宅・車中泊避難者）への対応を決めていますか。
	⑤ 避難者が利用する経路・通路は、車いすが通行できる幅員が確保され、危険個所や段差が解消されていますか。
情報	⑥ 掲示板等は、車いす利用者や子どもに配慮し、低い位置からでも見通しがよい配置になっていますか。

## 誰もが安心して利用できるための 避難所チェックリスト 13項目

区分	チェック項目
情報	⑦ 施設の案内情報はわかりやすい表現（ゴシック体、色の組合せ）になっていますか。
	⑧ 音声でコミュニケーションや情報がとりにくい人のため、コミュニケーション支援ボード等の機材は用意してありますか。
	⑨ 視覚に障害のある人にも利用できるよう、音声案内設備や点字表示がありますか。
設備	⑩ 男女更衣室や静養室、授乳室として利用できる空間（個室やパーテーション）が用意できますか。
	⑪ ベッドルームや簡易ベッドは用意してありますか。
衛生	⑫ 車いす利用者やオストメイト、子ども連れの人などに使えるトイレや手洗い場が設置してありますか。
	⑬ 災害時に衛生的に、誰もが安心して利用できるよう、トイレや手洗い場の利用ルールについて取り決めてありますか。